

善福寺川をより身近な川に！

9日、杉並区立井荻小学校（善福寺1-10-19・梅津典子校長）の5・6年生の代表が区役所を訪れ、学校の敷地に沿って流れる善福寺川をきれいな川にしたいと自分たちの目標を伝え協力を求めました。井荻小学校では、平成21年から善福寺川流域の遊歩道の清掃活動を開始。平成22年度からは川床に入っての清掃や水質検査などを行ってきました。田中区長は、子どもたちの善福寺川への思いを受け、区の総合計画の見直しに取り入れることを約束しました。

杉並区では、遠い昔から妙正寺川や善福寺川、神田川などの河川や豊かな湧水が人々の暮らしを支えてきました。しかし、近代になり都市化が進む中で、河川と人の暮らしが縁遠くなり、その結果、川を汚す行為や水質の低下などを招きました。

井荻小学校は、善福寺川を挟んで敷地を保有しています。教室から、体育館やプールへ移動する際に、善福寺川を渡ります。もちろん、子どもたちは毎日の通学や生活の中でも、善福寺川と隣り合って過ごしてきました。



平成21年、井荻小の5年生が社会の授業で、「私たちの生活と環境」について学びました。この授業で、京都の鴨川をきれいにしたのは、地域の人々の取組と知り、いつも身近にある善福寺川を自分たちできれいにできないか考えるようになりました。そして、放課後などに川と並行して整備されている遊歩道の清掃、さらに手作りの看板を掲げ「川をきれいにしましょう」と地域の住民に呼び掛けてきました。これらの活動は、代々の6年生の放課後の自主参加活動として受け継がれ、やがて保護者や地域の方々を巻き込み、今では川床に降りての清掃や水質検査を行うようになっています。

9日午後4時、井荻小学校の5・6年生113名を代表して、4名の児童が区役所を訪れました。この5年間の活動の報告と善福寺川が地域の人々にとって、より身近な川となるよう全員で考えた夢の設計図を手渡しました。設計図には、都立善福寺公園の上池と下池を結ぶ水路を親水エリアとすることが描かれていて、その実現のため、区に理解と協力を求めました。子どもたちの声を受けて、田中良区長は、「みんなの夢の設計図を参考に、地域の方々が川に親しめるような場所を総合計画の改定の中で検討したい」と話しました。

【問い合わせ先】井荻小学校：TEL：3390-3141

環境部環境課：TEL：3312-2111

総務部広報課 TEL：3312-2111